

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第108回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第108回：2021年1月14日（木）13:30～16:30

2. 場所 Web開催（Webex）

3. 出席者

（出席委員）高田主査，桐本副主査，橋本（和）幹事，佐藤（吉），牟田，石田，岩谷，
齋藤，菅原，橋本（望），池田，三橋，小森，塩田（14名）

（常時参加者）友澤，藤崎，錦見，根岸，不破（5名）

（敬称略）

4. 配布資料

P4SC-108-1 第107回L1PRA分科会議事録

P4SC-108-2 専門部会中間報告コメント対応及び変更点

P4SC-108-3-1 内的事象L1PRA標準統合性能化基準 コメント対応案

P4SC-108-3-2 内的事象L1PRA標準統合性能化指針 コメント対応案

P4SC-108-4 基準及び指針の標準構成について

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員14名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また，配布された資料が確認された。

(2) 第107回議事録の確認

資料P4SC-108-1を用いて，第107回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡
いただくこととし，特になければそのまま正式版とすることとなった。

(3) 専門部会中間報告意見への対応について

資料P4SC-108-2により，リスク専門部会への標準案中間報告における意見への対応につ
いて審議した。主な議論は次のとおり。

- ・意見対応で追加する基準・指針の使用法に関する解説1.2において，「指針単独で判断し
てはならない」は，「指針単独で判断すべきではない」に修正する。
- ・基準解説4.3での安定停止状態の議論に関する公開会議資料は参考文献に追加する。

- ・指針 10.2 b) 項に記載のデジタル系機器の共通原因故障については、検討考慮すべき事項として整理し直し、前段箇条書きの並びで規定する。
- ・専門部会・標準委員会への中間報告の段階では、意見対応による修正にとどめて報告する。並行して検討している分科会議論による修正は、附属書の補完・書式の調整と合わせて最終報告の段階で反映する。

(4) L1PRA 標準統合性能化

資料 P4SC-108-3-1, 3-2 及び P4SC-108-4 により、L1PRA 標準統合性能化案について検討した。主な議論は次のとおり。

- ・指針 7.1 b) 項, 10.1 e) 項に記載の事象例については、専門部会意見対応を含めて事象説明案を検討し、分科会で継続検討する。
- ・指針 11.4 b) 項での「プラント内の組織の影響」には運転員のリソース、運転員・タスクの従属性などが考えられるため、趣旨を明確化して修正する。
- ・指針附属書 0.5 記載のダイグラフ手法は、システム解析の実務上支障がないと考えられるため、項目削除とする。

(5) スケジュール, その他

次回分科会は 2 月 18 日 PM で web 開催の予定とする。なお、5 カ年計画の今年度更新が近々依頼される予定であり、別途事務方にて対応する。

以上